



皆さんお一人お一人に寄り添い、
元気で安心安全な暮らしを守り抜くために

皆さんに寄り添う政治。 新谷正義



自民党

自由民主党広島県第四選挙区支部長
衆議院議員

全世界において中国発の感染症である新型コロナウイルスが猛威を奮っており、まだ未知の部分も多い感染症であり、国を挙げて闘いが続いている状況です。国民の皆様には、本場に大きな負担となっており、そして日々不安や悲しみと闘っていただいているところであり、その中でも、わが国では、国民の皆様のご努力により感染者数、死亡率ともに共に他の先進国に比べ、非常に低く抑えられています。国としても、まずは感染の拡大を防止することを第一に、引き続き感染症予防、ワクチン・治療薬の開発支援、物資の確保等に全力で取り組んで参ります。

医療崩壊を防ぐ

一方、新型コロナウイルスと闘うためには、医療崩壊を防ぐことが非常に重要な任務となっており、医療病床の確保や医療機関への支援、物資の調達等に取り組んで参りましたが、今再び状況はひっ迫しつつあります。新型コロナウイルスの影響で赤字病院が多発するなか、国民の皆様が安心して医療を受けられるように全力で体制維持に努めて参ります。

一方で自らが新型コロナウイルスに感染するリスクを負うなか、医療や介護に従事する皆様に対し大きな負担に加える状況で風評被害まで起きている状況で

**厚生労働大臣政務官
経験者として
新型コロナウイルスに
立ち向かう！**

す。医療・介護従事者の皆様のために最大20万円の慰労金の支給が実現できました。

中小・小規模事業者の皆様に大きな危機が迫っています。

一方付随する経済不況も見逃ごせません。正確な統計のある民主主義国家先進国のGDPは4月～6月期でのきなみ2割低下している状況であり、今何が望まれているか。まずは雇用を守る。その為に前厚生労働政務官として雇用調整助成金の対象拡大、支給率の底上げ、支給額の増大に取り組み実現してまいりました。

さらに国として事業者の皆様へ最大200万円を給付する持続化給付金をお届けすることができました。また、休業が続くなかで家賃負担が深刻な問題となるなか最大600万円の家賃補助を政策として行っており、全世界が不況に直面するなか、この難局を乗り越えるため皆様に寄り添い、限られた財源の中で何が出来るかしっかりと見据えてスピード感をもって動いてまいります。

豪雨災害から2年が経過しました。

甚大な被害を防ぐため、国としても河川の護岸、砂防ダム等のハード面の整備を進めて参りました。ライフラインの強化という観点からも東広島・安芸バイパスの整備を進め、令和4年度中に完成する目途がたつて



1 令和2年7月28日 青木国土交通副大臣と坂町被災箇所復旧状況視察

近年自然災害は各地で毎年発生する状況にあり、今年の梅雨の時期も東広島市内では死者を伴う被害が発生しており、今後の災害にもしっかりと備えていかなければなりません。新型コロナウイルスが猛威を振るう中ではありますが、災害はそれとは無関係にやってきます。コロナ禍にあつてもインフラ整備に向けた不断の努力は欠かせません。防災・減災対策として国も3か年の予算を組んで取り組んで参りましたが、未だ復旧も途上にあります。このため新たな中長期の予算確保に向けて、国土交通委員会・自民党国土交通部会・政調全体会議など国政の場で、予算確保を積極的に提言しています。ハード面のみならず避難路の確保、避難所における感染症対策などソフト面でも課題は山積しています。各地域に合わせて最も適した対策は何か。皆様に寄り添い政策に取り組んで参ります。

活動記録

新谷正義が伝えたい 感染症予防



今後の新型コロナウイルスの感染の流行を抑えるためには、
1人1人自分自身での対策が欠かせません。
ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 密閉・密接・密着の3密の場所に行かない!**
- 喚起を徹底し喋るときはマスクを!**
※屋外など他人がいなければ必要なし
- 手洗いは重要!**
●手のひらから、指先、親指、手の甲、指の間、手首、小指球*まで
※手の側面で、空手チョップの場所と覚えてください。
●30秒間じっくり時間を掛けて
●他人がさわるモノを触ったら手洗いを
●飲食する机のほか、スマホやタブレットも消毒しましょう
- 水でうがいを!**
●クチュクチュウがいをしたあとで、ガラガラうがいを10秒間2セット

感染症対策について

わが国では国民の皆様のご努力により、他国に比べ新型コロナウイルスの死亡率が低く抑えられていますが、今後も感染の流行は続くと思われ、1人1人自分自身で対策を行っていくことが必要で、引き続きお願いを申し上げます。

当初から言われている通り、密閉・密接・密着の3密の場所に行かないこと。人があつまる場所では換気を徹底すること。咳エチケットを各自がしっかりと守り、人と接するときは可能な限りマスクを着用すること。うがいと特に手洗いをしっかりと行うこと。これらの事は引き続き最も重要となるものです。

誤った方法により感染してしまうケースも多く見られており、特に注意すべきポイントを申し上げさせて頂きたいと思ひます。

まず手洗いに関してですが、手のひらは洗っても指先や手の甲に汚染を残してしまう方が多くいらっしゃいます。洗うのは手のひらから、指先、親指、手の甲、指の間、手首、小指球(分かりにくいですが、私はよく「空手チョップの場所」と表現しています。机などに接触することが多い割に洗い残しが発生しやすい場所です)。自分でいつもの順番を決めてしっかりと30秒かけて行っていただければと思います。

コロナウイルス感染は、まれに動物からもありますが、ほとんど全て人から感染します。感染した人の唾液(つば)や痰などを吸い込む、あるいは、それがくっついた場所を触り、その後鼻や口や目を触ることで感染します。不特定多数が触っているか分からないモノを触ったりした後は必ず手洗いをして下さい。他人の唾液が飛ぶような場所、飲食をする机などは、こまめに消毒をお願いします。汚れた手で触る可能性の高い、携帯電話・スマホ・タブレットも外出から帰ってきたときはキレイに拭くか消毒をお願いします。

人からしか伝染しないものなので、他人がいない場所では、マスクは着ける必要はありません。熱がこもりやすいので、残暑の中、熱中症対策からも必要ない時は外して頂いて大丈夫です。

外出から帰ってきた時は、出来れば顔を洗い、うがいをすることを勧めます。うがいは水で十分です。無理に消毒液を使う必要はありません。クチュクチュウがいで口をゆすいだ後ガラガラうがいを10秒2回行えば粘膜表面に付着したウイルスを多く洗い流せます。

衆議院議員	新谷正義プロフィール	役職(歴任)
昭和50年3月8日 平成13年3月 平成18年3月 平成18年～24年 平成24年12月 平成29年10月 平成30年10月	広島県東広島市生まれ 帝京大学医学部卒 東京大学経済学部卒 病院長 第46回衆議院総選挙にて初当選 第48回衆議院総選挙にて広島4区より3期目の当選 厚生労働大臣政務官就任	衆議院 国土交通委員会 理事／災害対策特別委員会 理事／厚生労働委員会 理事／厚生労働大臣政務官 自民党 厚生関係団体委員会 委員長／厚生労働部会 副部会長／国土交通部会 副部会長／青年局 次長／報道局 次長／憲法改正推進本部 幹事／データヘルス推進特命委員会 幹事／死因究明体制推進に関するプロジェクトチーム 幹事長代理／医療分野の研究に関する小委員会 事務局長／終末期医療に関する検討プロジェクトチーム 幹事／医師の働き方改革に関する検討プロジェクトチーム 幹事

国会見学受付中

めったに見ることのできない国会議事堂をご案内します。お1人でも団体でもご参加できます。ご希望の方は新谷正義事務所までご連絡ください。お待ちしております。

ポスター掲示サポーター募集

選挙区内のご自宅・会社等にポスター掲示板を設置して下さる掲示サポーターを募集しております。ご協力頂ける方がいらっしゃいましたら、新谷正義東広島事務所／安芸事務所までご連絡をよろしくお願い申し上げます。

自民党に入党して、党員として自民党を支えてください。

自民党は党員を募集しています!

お問い合わせ／自由民主党広島県第四選挙区支部 TEL.082-431-5177

東広島事務所 〒739-0015 広島県東広島市西条米町9-21 TEL.082-431-5177 FAX.082-431-5178	安芸事務所 〒736-0066 広島県安芸郡海田町中店7-17 TEL.082-824-0560 FAX.082-824-0561	国会事務所 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館805号室 TEL.03-3508-7604(直通) FAX.03-3508-3984
---	--	--

H.P. facebook

新型コロナウイルス対策に 全力で 取り組みます！



令和2年4月3日厚生労働委員会 質疑

するワクチンの開発、確保にも
取り組んでいます。

国内の有望な製薬・ベンチャー
に優先的に研究費を投入する
とともに、アメリカやイギリス
で開発中のワクチンの供給を受
けることで合意するとともに、
国際共同購入に参加すること
で、よりワクチンの確保の確度
を上げることが目指して取り
組んでいます。

医療の整備を 進める

新型コロナウイルスは、重症者になる
と入院や治療の期間が長くな
るといふ難しい特徴がありま
す。こうした患者の方々がしつ
かりと医療にかかることがで
きるかどうかが生命線となる



1 令和2年2月25日 予算委員会第八分科会 質疑

のです。

国会では、こうした病床の確
保を進めるように政府に強く
要請するとともに、医療を提
供する医療機関を守るべく、
診療報酬の取扱いの柔軟化や、
診療報酬の増額について、こち
らも厚労省に強く求めてきた
ところです。

この新型コロナウイルスへの対応で、
自らが感染するリスクを負う
なか、医療機関や介護施設で
感染対策に従事する皆様に
は、大変な負担に加え、時に
風評被害まで起きている状況
です。国として、感染対策に
当たった皆様への支援給付につ
いても申請を開始することが
できました。

重症者を医療機関に集中さ
せるため、宿泊事業者の皆様



1 保育所視察

力もお借りして、宿泊療養の
仕組みを進めてきました。国
会でも、宿泊療養を実施する
施設の負担を少しでも減らせ
るよう強く訴えてきました。

生活を守る

新型コロナウイルスとの戦いは単に感
染や重症化を防ぐだけではあ
りませんでした。いかに、地元
の皆様の生活を守るのかとい
う点でも議論を続けてまいりま
した。

1人当たり10万円を支給す
る事業については、当初申請の
受付が迅速に実施されないとい
うお声もありましたが、その
後、各自自治体の努力もあり、
かなりの部分の給付が実施さ
れたところです。

生活や仕事を守るために、
保育所の感染対策についても議
論をしてきました。働く人に
とっては、保育所はライフライン
そのものです。厚労省には、地
域や保育所で混乱が起こらない
よう、対応方針の徹底をお願い
してきました。

経済を立て直す

そして、新型コロナウイルスによって
減速を余儀なくされた経済の

新型コロナウイルスと戦う

東京滞在中は、国会や自民
党での会議の他、厚労省などの
政府機関と直接新型コロナウイルス対
策について、議論・要請を重ね
てきました。

こうした議論も、地元秘書
を通じて伺った、皆様の切実な
思いを受けてこそできたもので
す。ご意見をいただいた皆様に
大変感謝いたします。

感染を防ぐ

新型コロナウイルスの被害を防ぐため
には、まず何よりも感染を防
ぎ患者を増やさないことが第一
です。しかし、未知のウイルス
であることから、対策は多くの
困難を伴いました。

集められた情報を基に、3つ
の密を避けることや、手洗いや
消毒といった日常でできる注意
事項を、政府と一体で発信させ
ていただきました。また、クラ
スターと呼ばれる複数感染を
国で把握し、そこから感染者
を特定するという日本ならではの
対策も続けてきたところ
です。

皆様のご協力のおかげで、他
の先進諸国に比べ感染率・死亡



1 令和2年4月30日 日本医師会および四病院団体協議会との、自民党政務調査会へ「新型コロナウイルスによる医療崩壊を阻止するための」要望活動同行

率は抑えられています。
まだまだ気は抜けませんが、
これらひとえに皆様の不断の努
力によるものです。本日に感謝
申し上げます。

国も感染拡大を防ぎなが
ら、実態の把握に全力で取り
組んでおり、新型コロナウイルスを予防

立て直しが今後の急務となつて
います。感染対策と経済対策
の両立という難しい舵取りを
していかなくてはなりません。
業務の減少に伴う休業をせ
ざるを得なかった事業所や従
業員の方に対する雇用調整助
成金の拡充や申請手続きの簡
素化については、何度も厚労省
と議論を重ねて、実現を図つて
きました。

地域経済を守るために何が
必要か。国に何ができるか。
常に考え続けて参りました。

現状、国や政府も初めての
事態に直面する中で、必ずし
も完璧な対応が取れていない
ところもあると思います。特
に政府が霞が関だけでモノゴ
トを考えても地方でうまくい
かないことも多々あると思
います。

そうしたことを見つけ、国の
方針を正していくのが、まさに
政治家の仕事です。地域の実
情が国の施策にしっかりと反映
されるよう、提言を続けて参
ります。



1 G7・WHOに政府代表として参加、国際感染症対策について議論